

# 消費税の増税が町に与える影響は



柳沢浩一



町長

一般会計で  
約3500万円負担増

**質問** 来年10月から消費税が10%に引き上げられるが、町財政に与える影響は。

**答弁** 町長 消費税が10%に引き上げられるのと同時に、消費税の軽減税率制度が導入される予定となっており、現在消費税10%を見込んでの予算編成作業を行っている。一般会計ベースでは、3500万円程度の負担増と試算している。

## 学校教育の現状と課題は

**質問** 玉村町の目指す教育は。

**答弁** 教育長 「夢叶える教育の町たまむら」をスローガンに、学校、家庭、地域社会が教育における役割と責任を自覚して連携・協力し、変化の激しい社会を心豊かにたくましく生き抜く子供の育成に取り組んでいる。

**質問** 町内小中学校におけるいじめや不登校の現状は。

**答弁** 教育長 いじめや不登校については、各小中学校からの毎月の児童生徒問題行動月例報告において各校の状況の確認をしている。  
いじめの認知件数はいじめに対する定義が変わったことにより増加している。この10月は小学校11件、中学校2件であり、不登校の児童生徒数は、小学校11人、中学校18人であった。

**質問** 中学校全体で940人の生徒がいる中で、いじめの認知件数が2件というのは極めて少ないと感じる。もちろん結構なことではあるが、認知に対する基準が甘いのではないか。

**答弁** 教育長 認知の件数については少ないと感じており、この数がすべてだとは教育委員会も思っていない。教員も自分たちが見逃した「いじめ」があるだろうという気持ちを持って毎日過ごしていると思う。そのため、教員は子供たちが登校してきたら、あらゆる機会



未来ある子供たちのために

こんな質問もしています  
・障害者雇用率は達成するか

を捉え子供たちの動向に気を配っている。  
いじめは目につかない場所で起き認知は難しいが、そこに教員の意識が向いていることについて評価している。

# 平成31年度 予算編成方針を示せ



三友美恵子



町長

歳入に見合う歳出構造へ  
転換を図る



文化センター周辺の次期分譲地造成工事

**質問** 平成31年度予算の編成に当たり、職員に出した指示は何か。

**答弁** 町長 「財政健全化」と「人口減少対策」の2本柱を堅持すること。既存事業を抜本的に見直し、新たな行政需要、町民ニーズに的確に対応し、歳入に見合った歳出構造への転換を図ることを指示した。

**質問** 未来への投資の施策とは何か。

**答弁** 町長 具体的には、企業誘致や産業振興による「税収アップや雇用・定住促進」、子育て支援や教育の充実などの「人口減少対策」である。これら

の施策に「未来への投資」として重点配分する。

**質問** 行政サービスの低下はないか。

**答弁** 町長 廃止や縮減可能な事務事業を見極めるとともに、可能な限り町民サービスを継続し、時代に即した行政需要に対応していきたい。

**質問** 「玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の達成状況は。

**答弁** 町長 道の駅でのご当地食品の売上高、年間日帰り客数、英語教育講習会受講者数などは目標を達成している。

## たまりの再編計画を示せ

**質問** 「たまりん」の再編計画はどうか。

**答弁** 町長 来年7月に路線バスへの乗り換えがスムーズになるようたまりの時刻変更を行う。また、既存バスの新町駅への増便が難しい場合には、

新町駅への新規乗り入れの検討もする。2段階目として建設予定のバスターミナルを拠点とし、各地域に設ける拠点との往復便へと再編する計画である。

**質問** たまりん乗車補助券を配布する考えは。

**答弁** 環境安全課長 検討したい。

**質問** タクシー利用補助は今後どうするのか。

**答弁** 環境安全課長 3年程度実証実験は続ける。

## 災害対策は万全か

**質問** 避難所運営マニュアルはできているのか。

**答弁** 町長 文書化したマニュアルはできていないので策定を急ぎたい。

**質問** 防災士の役割をどう考えるか。

**答弁** 町長 町や自主防災組織と連携を図り、地域防災の指導的役割を担ってもらいたいと考えている。